

内部評価の結果

【評価結果】

計画通り実施

【評価理由】

本市は、響灘地区の有する充実した港湾インフラを活かし、風力発電産業を主たるターゲットに据え、あらゆる機能を集積させた「風力発電関連産業の総合拠点」の形成を目指し、平成 22 年度から「グリーンエネルギーポートひびき」という名称で事業を推進している。

約 2 万点の部品数を取り扱う風力発電関連産業は、裾野が広い産業と言われている。本市が、響灘地区を中心に関連産業の集積を進めることにより、新規雇用の創出など市内経済に広く貢献できると見込んでいる。

現在、この取り組みの一環として、響灘洋上ウインドファーム事業の設置・運営事業者として選定されたひびきウインドエナジー社が、平成 34 年度からの工事着工に向け鋭意、計画を進めているところである。

洋上風力発電の建設に必要となる基地港湾は、重厚長大物である風車部材の荷役や保管、タワーの事前組立、特殊作業船への積出作業などの機能を有した港湾施設である。

本市は、この基地港湾を「風力発電関連産業の総合拠点」の核とし、響灘洋上ウインドファームのみならず、国内の他地域の洋上ウインドファームを取り込み、関連産業の集積につなげ、本市の活性化を図っていくこととしている。

響灘地区の風力発電関連産業の総合拠点を形成するには、この基地港湾を早期に整備することが求められることから、計画通り実施することを対応方針として決定した。

なお、公共事業調整会議では、当該基地港湾の優位性をアピールし、西日本エリアの拠点としての利用促進に努めていく必要があるとの意見があった。また、通常の港湾施設と比較して整備費用が高額になることから、収入については、施設使用料についての検討や、国の財政的な支援などの財源確保が得られるよう努めるべきであるとの意見もなされた。

これらの意見については、利用促進につながるような取組みを行うこととし、財源確保についても継続して要望活動等を実施・検討していく予定である。